

第 61 回 全沖縄中学校バレーボール選手権大会

沖縄県大会ガイドライン

沖縄県バレーボール協会 中学部

参加者の健康と安全を最優先にするために、以下のガイドラインに基づき大会を行う。大会期間は、各会場においては感染拡大防止に努め、全ての参加者に健康チェックシートの提出を求める。

1 3密を回避するために

- (1) 大会会場(体育館内)への入館は、登録選手 12 名、監督、コーチ、マネージャー、大会関係者(引率教諭・管理職・審判員を含む)のみとし、無観客試合を基本とする。ただし、敷地内への入場は、入館できるメンバー以外の生徒または保護者を合わせて2名までとし、当該チームの試合の際は、撮影を目的とした入館(2名とも)を認める。
※ 最終日の準決勝は各チーム10名(撮影係を含む)まで、決勝(特設コート)は20名(撮影係を含む)までの敷地内の入場並びに当該チームの試合観戦を認める。
- (2) 体育館外(窓など)から試合を観戦することは禁止する。
- (3) 開館後に行っていた2試合目以降のチーム練習は行わない。
- (4) 開閉会式は行わない。表彰は試合終了後、コート上にて行う。
- (5) ベンチは背中合わせにしないようにする。
- (6) ベンチの椅子は間隔をあけて5脚まで設置できる。コートチェンジの際には、各チームで椅子を持って移動する。
- (7) 2試合目以降はIF用紙が本部に提出されてから20分後にプロトコールを行う。試合間を十分に確保し器具や備品の消毒を行う。また、他チームとの接触を無くす。
- (8) 試合開始、終了後の選手同士、顧問同士、審判等への握手は行わない。
- (9) 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チーム毎、密にならないように設置する。
- (10) 他チームとの交流や接触は極力避ける。
- (11) 入場は、消毒などの作業が終わり、IF用紙が本部に提出されたあと審判が合図を出す。審判の合図は各チームとも1人で聞くようにして、他の選手は密にならないようにして待機場所で待つ。退場は、1チームずつ退場できるように審判で合図を出す。※入退場の際の密や接触を回避する。

2 消毒について

- (1) 会場出入りに消毒用アルコール1本設置し入退場の際には手指消毒を行う。
- (2) ボールやジャッジフラッグなど不特定多数で使用する器具等は1試合ごとに消毒を行う。
- (3) ボールやボールかごなど会場に持ち込む用具等は、入館前に各チームで消毒を行う。
- (4) 試合終了後は利用したチームでベンチの消毒を行う。※各チームでアルコール消毒用のスプレーやペーパータオルなどを準備する。
- (5) 各チームの撮影者は、コートチェンジや試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行う。
※ 最終日の観戦者は、試合終了後、撮影場所を離れる際は消毒を行うこと。

3 クライシスマネジメントとして

- (1) 各チームで感染対策責任者を任命する。※監督・コーチが兼任してもよい。
- (2) 各チームの感染対策責任者は、登録選手全員とマネージャー並びに、それ以外の生徒・保護者（2名まで）の健康チェックシート（保護者は健康申告書）を毎日提出させ、2週間の保管を行う。（万が一、感染者がでた場合には提出を求められることがある。）
- (3) 各チームの監督・コーチ・引率責任者・帯同審判・大会役員は、毎日、大会本部に健康申告書を監督会までに提出する。※感染対策責任者がチームごとにまとめて提出する。
- (4) 会場への入場は、原則として健康チェックシート・健康申告書を提出した者（管理職や審判も含む）のみとする。ただし、入館の際の検温で発熱（37.5℃以上）がある場合は、入館できない。
- (5) 会場ではマスクを着用する。但し、準備運動、競技中のマスク着用は無理に強要しない。
※ベンチ・生徒役員はマスク着用。

4 入場について

- (1) 屋内・屋外に関わらず、マスク着用に協力していただく。マスク着用が協力できない者は会場（敷地内）への入場は遠慮していただく。
- (2) チーム関係者（監督・コーチ・選手を含む）は、チーム名がハッキリとわかるIDを常時身に付けること。※IDの形式は自由
※ ただし、最終日の観戦者は、入館する際、大会本部から渡されるIDも常時身につけること。
- (3) 撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードしないこと。（保護者・選手への周知を徹底する。）